

XMP-320 ユーザーズマニュアル



各モデルによる相違点

XMP-320 と XMP-330 はともに XMP-120 を基に作成していますが、下記の違いがあります。

XMP-320

Ethernet

XMP-330

Ethernet + Wi-Fi

Wireless operations apply to XMP-330 only. All other aspects of operation are identical for each model.

Wireless での操作は XMP-330 のみ対応しています。そのほかの機能については同じです。

Contents

XMP-320 ユーザーズマニュアル	0
1. はじめに	1
1.1. 特徴	1
1.2. パッケージ内容	1
1.3. 装着オプション	1
1.4. 装置の外観	2
2. XMP-320/330 メディアプレイヤーの設定	3
2.1. システムへの接続	3
2.2. USB キーボード設定メニュー	3
2.3. XMP-320/330 をネットワークへ接続する	4
2.4. ビデオ出力設定	5
2.5. 時刻、カレンダー設定	5
2.6. パスワード設定	5
2.7. 工場出荷時へリセット	6
2.8. ファームウェアアップグレードの適用	6
3. コンテンツ管理	7
4. SMIL での動作	8
4.1. はじめに	8
4.2. 開発者のための www.a-smil.org	8
5. テクニカルデータ	9
5.1. 仕様	9
6. 付録: FAQ	10
7. IAdea Limited Warranty	12

1. はじめに

このドキュメントは XMP-320/330 のハードウェア、ソフトウェア操作、システム設定、およびよくあるご質問について記述しています。

1.1. 特徴

XMP-320/330 は工業用機械設計と多彩な表現を可能にする SMIL 標準仕様を備えた Full-HD 1080p high definition digital signage プレイヤーです。

- Full-HD 1080p hardware decoding of MPEG, H.264, and VC-1 media formats
- Full-HD 1080p ハードウェアは MPEG、H.264、VC-1 メディア形式をデコードします。
- 4GB on-board flash local storage with CF card slot
- CF card スロットに 4GB のフラッシュメモリを内蔵しています。
- Integrated audio and video output via HDMI
- HDMI により、オーディオとビデオを同時に出力します。
- Supports full POPAI Screen Media Formats Standards profiles S1 to S12, and E1 to E9
- POPAI で定められた S1 から S12、および E1 から E9 のすべてのメディア形式をサポートします。
- Multiple 3rd party software solution compatibility
- 複数サードパーティのソフトウェアに対応しています。
- Industry leading W3C SMIL support for developers
- 開発者向けに業界をリードする W3C SMIL をサポートしています。
- (XMP-330 only) Built-in wireless b/g/n network
- ワイヤレスネットワーク IEEE802.11 b/g/b1 に対応しています。(XMP-330 のみ対応)

1.2. パッケージ内容



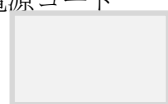
メディアプレイヤー本体



ドキュメント CD



AC アダプタ
電源コード



ソフトウェアセット
アップガイド



LAN ケーブル



Wi-Fi アンテナ
(XMP-330 のみ)



標準 3.5mm オーディオケーブル
to RCA AV adapter



CF card カバー
(本体に装着されています)



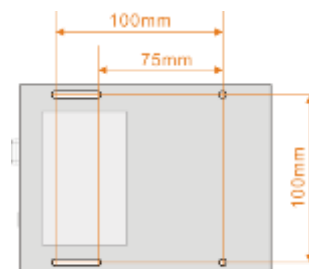
クイックスタートガイド
Guide

ご注意: システムのセットアップには別途 USB キーボードが必要となります。

1.3. 装着オプション

プレイヤーはスクリーンの背面や VESA MIS-D100(100mmx100mm)規格のキャビネット内側のフレームなどに装着することができます。

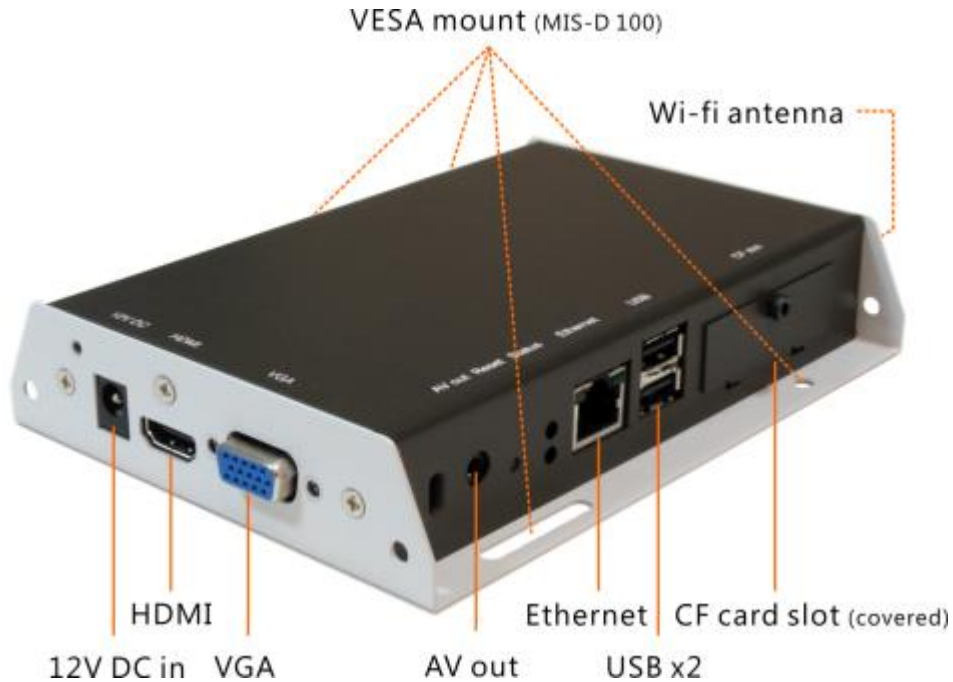
(XMP-330 のみ)図のようにワイヤレスアンテナを装着します。アンテナはねじに時計回りに回して装着します。



Bottom view



1.4. 装置の外観



装置の特徴 (図左側より順に説明)

- 12V DC 用電源アダプター
- デジタル動画・音声、または DVI アダプターを装着してのデジタル動画出力用 HDMI 1.3a コネクター
- アナログ動画出力用 VGA ポート
- 3.5mm コンポジットオーディオ出力
- ソフトウェアを工場出荷時の状態へ戻すリセットボタン
- コンテンツアップデート用ネットワーク Ethernet ポート
- USB でのコンテンツアップデートおよび設定用 USB ポート
- CF card 取り外しツールと CF card スロットカバー

2. XMP-320/330 メディアプレイヤーの設定

2.1. システムへの接続

- 1 モニターへビデオケーブル(VGA または HDMI)を装着してください。
VGA で接続している場合は、XGA(1024x768)の解像度もしくはそれ以上をサポートしているモニタを使用してください。音声出力のために XMP320/330 からモニターへ RCA ステレオケーブルも接続する必要があります。
HDMI 接続をご利用の場合は、映像と音声は HDMI ケーブルから出力されます。別途音声用のケーブルはひとつありません。
注意:もし、何も映像が映らない場合は、モニターの入力設定をご確認ください。
- 2 AC 電源ケーブルを本体に接続してください。すぐに、モニターに起動進捗を表すプログレスバーが表示されます。



- 3 プレイヤーの起動完了にはおよそ 90 秒かかります。起動後、プレイヤーは USB ポートからコンテンツを同期する準備をするか、もしくは、すでに登録されているコンテンツがある場合は、すぐに再生を始めます。

トラブルシューティング Tips

- 1 本体の操作インジケータのランプが点灯しているにもかかわらず、モニターに何も表示されない場合。
 - ビデオケーブル(VGA または HDMI)(がしっかりと接続されているかをご確認ください。HDMI ケーブルを使用している場合は、高品質のケーブル、もしくは短めのケーブルを使用してみてください。
 - モニターの電源が入っているか、モニターの入力ソースが合っているか確認してください。
- 2 音声が聞こえない場合
 - VGA ケーブルをご使用の場合は、別途 RCA ケーブルを接続する必要があります。
 - モニターの音量、またはミュート設定を確認してください。

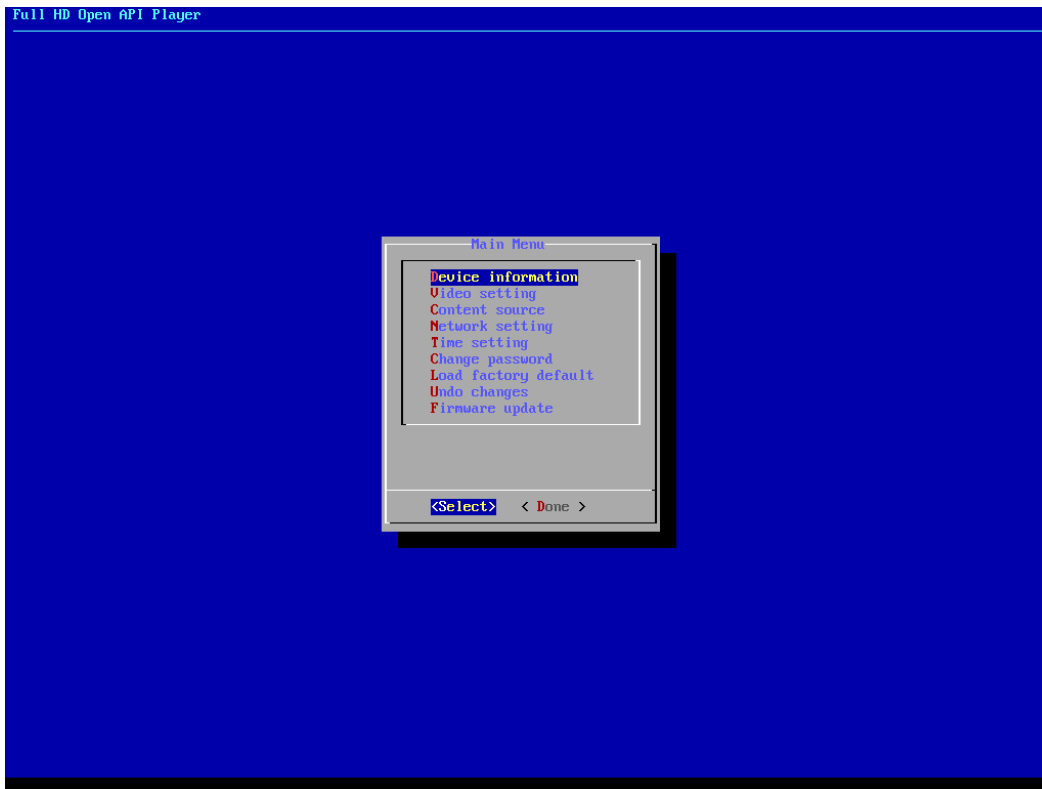


初回起動後左図のようにプレイヤーに”Open Standard Media Player”と画面に表示されます。USB キーボードを接続すると設定画面がひょうじされます。すでにメディアコンテンツがプレイヤーに登録されている場合は、起動後、直ちに再生が開始され、”Open Standard Media Player”の文字は表示されません。再生時でも USB キーボードを接続すれば設定メニューを表示することができます。

2.2. USB キーボード設定メニュー

設定を編集するためには USB キーボードを XMP-320 へ接続します。プレイヤーが起動完了または起動中に

キーボードを接続した後、メニューが表示されるまでおよそ 30 秒ほどかかります。



メニューの操作

メニューは、キーボードの矢印キー、スペースキー、Enter キー、数字キーを使用して操作します。矢印キーを押すと選択されているメニュー項目が反転表示され、スペースキーを押すと星マーク(*) (カーソル) が移動します。また、Enter キーを押すと <OK> または <Cancel> の確認が表示され、設定を変更できます。

2.3. XMP-320/330 をネットワークへ接続する

Network setting メニューを選択し、ネットワーク設定画面を表示します。

ワイヤレス接続(XMP-330 のみ)

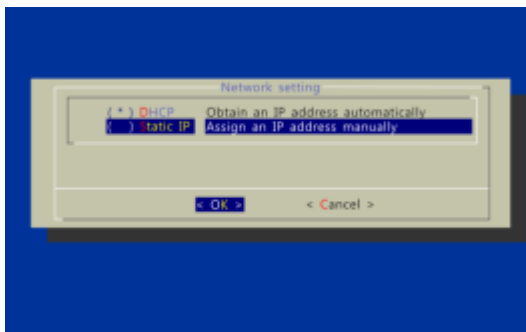
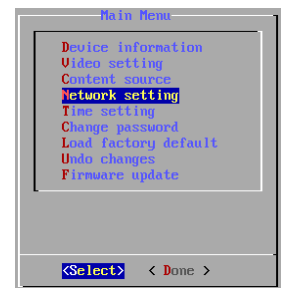
プレイヤーは起動中、近くにある無線信号を受け取ります。ネットワーク接続に認証が必要な場合は、アクセスするためのパスワード確認画面が表示されます。

有線接続

LAN ケーブルを使用してネットワークへ接続するためには、Wi-Fi(XMP-330)の設定を無効にし、本体に LAN ケーブルを接続します。

プレイヤーIP アドレス

ネットワーク接続するためにはプレイヤーにも IP アドレスが必要です。これには自動で設定する方法(DHCP)と、手動で設定する方法(固定 IP アドレス)があります。



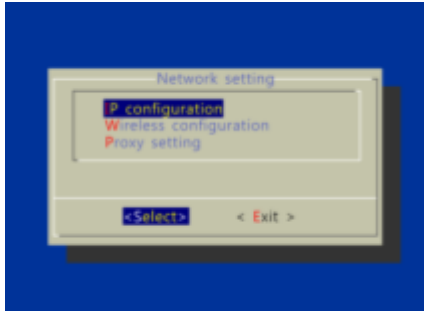
DHCP – 自動 IP アドレス取得

DHCP は既定で有効になっています。固定 IP を設定しない場合は、設定を変更する必要はありません。

固定 IP – 固定 IP アドレス設定

IP configuration メニューを反転させ Enter キーを押下して選択します。

“Static IP”メニュー項目を反転させ、スペースキーで星マーク(*)を異動させます。IP アドレスを入力し、Enter キーを押して<OK>を選択します。



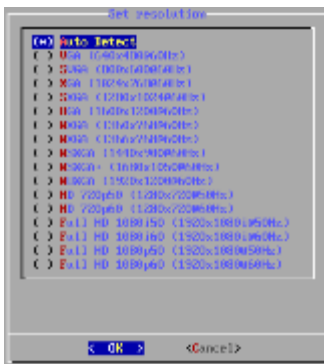
以上で、固定 IP アドレスが設定できます。Wireless configuration を選択するか、IP configuration を選択するかは環境によって決定してください。わからないことがあればネットワーク管理者へご相談ください。

2.4. ビデオ出力設定

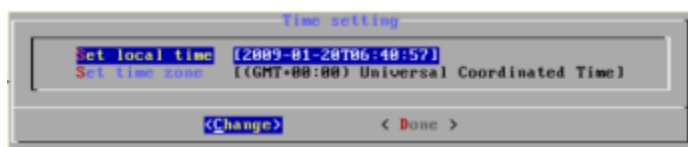
イメージの拡大縮小やかすみを避け、最適な品質を保つために、出力解像度をお使いのディスプレイの解像度に合うように設定してください。

液晶ディスプレイをお使いであれば、おそらく 1366x768、1280x720、もしくは 1920x1080 になります。液晶コンピューターモニター、プロジェクター、プラズマディスプレイをお使いの場合は、各デバイスにあった設定を行ってください。

解像度を選択する場合は、目的の解像度の項目を反転させてスペースキーを押下し、Enter キーを押して<OK>を選択します。



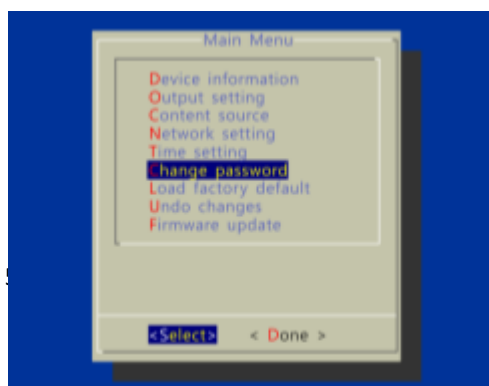
2.5. 時刻、カレンダー設定



正しいタイムゾーン、日時を設定してください。夏時間(DST)のルールは選択されたタイムゾーンで設定されます。

2.6. パスワード設定

認証なしでのプレイヤーの設定を防ぐために、パスワードを設定してメニューを認証なしで表示しないようにします。



トップのメニューから“Change password”を選択します。

重要: 一度パスワードを設定すると、USB キーボードを接続してメニューへアクセスするには、Ctrl + Alt + Delete を押下する必要があります。キーボードの接続はいつ行っても構いません。

パスワードをお忘れの場合は、“工場出荷時へリセット”を参照してリセットしてください。

2.7. 工場出荷時へリセット

設定したシステムのパスワードを忘れた場合は、プレイヤーへアクセスするためにリセットする必要があります。

リセットボタンを使用

- 1 ペンなどでリセットボタンをしばらく押し続けてください。
- 2 電源を入れなおしてください
- 3 ステータス LED が点灯するまで 8 秒ほど待ってください。
- 4 システムが工場出荷時の状態へリセットされます。



USB キーボードを使用

システムを初期設定へ戻す、パスワードを削除する、設定値を元に戻すには、次のようにしてください。

- 1 USB キーボードを接続します。
- 2 プレイヤーを再起動し、画面左上の角に表示されるリセットの表示を探してください。リセットの表示が出たときに、Delete キーを押下します。

→ もし、リセット画面で失敗した場合は、電源を再接続してやり直してください。

- 3 リセット確認ダイアログのメニューをよく確認してください。確認のために Yes を選択してください。
- 4 リセットを完了するために、システムが再起動するのをお待ちください。

2.8. ファームウェアアップグレードの適用

ファームウェアアップデートは USB ドライブで行うことができます。アップグレードを適用する前に、プレイヤーに対する変更点に関してリリースノートをよくお読みください。

- 1 最新のファームウェアを <http://www.digisignage.com> よりダウンロードして、USB ドライブのルートディレクトリにコピーします。
- 2 プレイヤーの電源を入れます。
- 3 USB キーボードをプレイヤーに接続してメニュー画面を表示します。
- 4 画面にしたがってメニューの firmware upgrade option を選択します。
- 5 接続の指示が表示されたら、USB ドライブをプレイヤーへ接続します。

3. コンテンツ管理

XMP-320 はサードパーティの管理ソフトで動作するよう設計されています。関連する設定手順については、印刷されたガイドを参照してください。

4. SMIL での動作

XMP-320/330 はコンテンツのプレゼンテーションや再生制御をするために、オープンな通信制御を使用しています。SMIL 準拠であることは、複数の装置で表示される結果が予測できると同時に、SMIL の非独占的性質は決して廃止されないことを意味しています。

4.1. はじめに

W3C がマルチメディア通信のために作成した SMIL(発音はスマイル)を使用するとプレイヤーは Adobe、Apple、Microsoft、RealNetworks のような企業の専用ツールによって、話された言語を解釈する。このことは、デジタルサイネージネットワークにプレイヤーをより早く、より簡単に、よりよく統合できることを意味する。ソフトウェア制御の道を開き、プレイヤーの潜在能力を最大限に生かすことを実現してください。



4.2. 開発者のための www.a-smil.org

メディアプレイヤーの操作は、プロジェクト管理の必要に応じてカスタマイズするために、基礎的なスクリプト言語として W3C SMIL を利用しています。リソース、ダウンロードやコミュニティサポートなどが必要なら、<http://www.a-smil.org> を参照してみてください。

5. テクニカルデータ

5.1. 仕様

	XMP-320	XMP-330
サポートビデオフォーマット	POPAI Screen Media Standards S6 (MPEG-1 SIF, 3Mbps CBR) S7 (MPEG-1 480p, 10Mbps CBR) S8 (MPEG-1 720p, 15Mbps CBR) S9 (MPEG-2 480p, 6Mbps CBR) S10 (MPEG-2 720p, 12Mbps CBR) S11 (MPEG-4 AVC, 480p, 6Mbps CBR) S12 (MPEG-4 AVC, 720p, 10Mbps CBR) E4 (VC-1/WMV9, MP@ML, 720p) E5 (VC-1/WMV9, MP@HL, 1080p) E6 (MPEG-2, 1080p, 20Mbps CBR) E7 (MPEG-4 ASP, 480p, 10Mbps CBR) E8 (MPEG-4 AVC, 1080p, 25Mbps CBR)	
サポートイメージフォーマット	POPAI Screen Media Standards S1 (JPEG 480p baseline) S2 (JPEG 720p baseline) S3 (JPEG 1080p baseline) E1 (PNG 24bpp+alpha, 480p) E2 (PNG 24bpp+alpha, 720p) E3 (PNG 24bpp+alpha, 1080p)	
サポートオーディオコーデック	POPAI Screen Media Standards S4 (MPEG L2 audio) S5 (MP3 audio, 384Kbps)	
再生制御	W3C SMIL 3.0 instructions (sub-set)	
コンテンツ管理	3rd party solution	
入出力コネクタ	HDMI 1.3 VGA 3.5mm AV out RJ45 Ethernet USB 2.0	As XMP-320 plus: Wi-Fi antenna port
内蔵ストレージ	4GB on-board flash memory (up to 1.8 hrs of 5 Mbps high def. video) CF card expansion slot	
アクセサリ	3.5mm-RCA AV cable Ethernet cable	As XMP-320 plus: Wi-Fi antenna
必要電力	12V 1.5A DC	
消費電力	最大 8 W (1080p full 解像度ビデオ再生時)	
動作環境	温度: 0 – 40° C / 32 – 104° F 湿度: 5 – 85% @ 40° C / 32 – 104° F 結露しないこと	
寸法	211x153x 43mm (8.3 X 6 X 1.7 inches)	
重量	1.14kg 2.5lbs	1.4kg 3 lbs.
安全性	UL 認定 AC アダプター	
証明書	CE/FCC/RoHS	
保証	1 年間の部品交換、サポート対応	

6. 付録: FAQ

対応しているビデオフォーマットは？

MPEG-4 ASP 解像度 720x400、ビットレート 2Mbps でエンコードされたビデオファイルは間違いなく再生されます。もし、スケジュール通りにビデオファイルが再生されない場合は、サポートサイトで“transcode”の説明を検索してください。

サインボードを Wi-Fi のアクセスポイントの近くに置いていますが、アクセスポイントに接続されません。

一般的な Wi-Fi 機器は、信頼できる動作のために Wi-Fi アクセスポイントから 3 メートル以内に配置します。接続状況の改善のために、サインボードからの距離を調整して再度アクセスポイントの位置を変更してみてください。

ビデオとビデオの合間の途切れに対して何か対応できることはありますか？

再生されているビデオとビデオの合間に途切れ(空白スクリーン)が発生します。空白を最小限に抑えるために、ビデオとビデオを連続して再生することを避け、ビデオとビデオの間に静止画が再生されるようにスケジュールしてください。

Ethernet と Wi-Fi を、両方とも接続している場合は、どちらが優先されますか？

Ethernet が使用不可または接続されていない場合、システムは Wi-Fi 接続を使用しようと試みます。もし、両方とも使用できる状態の場合は、Ethernet が優先されます。

サポートされている単一ファイルの最大ファイルサイズはいくつですか？

XMP320/305 がサポートしている最大ビデオファイルサイズは 2GB です。限界値を超えないように、余裕を持つよう推奨いたします。(例:1850MB)

What should I do if I forgot my password? パスワードを忘れた場合はどうすればよいですか？

この場合は、工場出荷時の状態へリセットしてください。

工場出荷時の設定へ戻すために、メディアプレイヤーの背面にある RESET ボタンを使用してください。プレイヤーのパスワードは削除されます。

Performing a factory reset 工場出荷時の状態へのリセットを実行する

警告:この操作はすべてのメニュー設定を工場出荷時の既定の値へ戻し、内臓のストレージを工場出荷時の状態へフォーマットします。(すべてのコンテンツは削除されます。)

工場出荷時の設定へのリセットとドライブのフォーマット手順

1. プレイヤーより電源ケーブルを取り外します。
2. RESET スイッチボタンを押し続けます。
3. RESET ボタンを押したまま、電源ケーブルを接続し、ステータスライトが点滅するまで待ちます。(約 15 秒)
4. システムドライブが初期化されますので、しばらく待ちます。

工場出荷時の既定の値へ戻すにはどのようにすればよいですか？

工場出荷時の設定へ戻すために、メディアプレイヤーの背面にある RESET ボタンを使用してください。プレイヤーのパスワードは削除されます。

工場出荷時の設定へのリセットとドライブのフォーマット手順

1. プレイヤーより電源ケーブルを取り外します。
2. RESET スイッチボタンを押し続けます。
3. RESET ボタンを押したまま、電源ケーブルを接続し、ステータスライトが点滅するまで待ちます。(約 15 秒)
4. システムドライブが初期化されますので、しばらく待ちます。

コンテンツの再生を管理するにはどうすればよいですか？

メディア機器はサードパーティのコンテンツ管理ソフトウェアまたは SMIL の標準仕様で操作できるよう設計され

ています。

Flash や Microsoft の PowerPoint プレゼンテーションは表示できますか？

プレイヤーは、制限はありますが、PowerPoint についてはサポートしています。Flash はサポートしていません。

パソコンは多くの形式を再生できますが、RISC ベースのメディアプレイヤーは特定のビデオ形式の再生を保証するように設計されています(詳細については仕様を確認して下さい)。Microsoft の PowerPoint 固有のファイル形式では、RISC ベースメディアプレイヤーで直接再生することはできません。静止画のスライドショーとして再生するために、他のソフトウェア(例: Afdotain Manager Express)を使用して、イメージファイル形式へ変換してください。

いくつかのメディアファイルが正しく際し得られないのはなぜですか？

使用しているビデオデータのビットレートが推奨されているビットレートの値を超えているかもしれません。

ビデオデータのビットレートは保存または再生している動画と音声の 1 秒あたりのデータの合計で、通常 Mbps であらわされます(mega-bits per second)。過度のビットレートでエンコードしたビデオは、入出力がボトルネックとなる可能性が高いため、メディアプレイヤーでスムーズに再生されません。

サポートしているメディアフォーマットについては www.digisignage.com のサイトを確認してください。

メディアの再生は、メディアプレイヤーの画面と比較してパソコン上では異なるように見えます。(誤ったアスペクト比)

ビデオコンテンツについては、二つの大きなアスペクト比(横と縦の比)がありますが、ディスプレイの種類は様々です。もし、16:9 のディスプレイで 4:3 のビデオを再生する場合(またはその逆)は、円が楕円になり、写真は縮められた、もしくは引き延ばされた様になります。このひずんだ見え方を回避するため黒いバーを追加することは、一般的です。

ネットワークメディアプレイヤーはディスプレイタイプに応じて黒いバーを自動的に構成できます。XMP-320 の構成メニューで、ディスプレイ固有の出力に合った解像度を設定することができます。

いくつかの JPEG イメージがプレイヤーで再生されません。

Progressive JPEG はサポートされていません。標準の JPEG 形式へ変換してください。

JPEG イメージには 2 つのタイプがあります。標準圧縮または Progressive 圧縮。標準 JPEG は高い圧縮率を提供しますが、progressive JPEG は web サイトの画像に適しています。progressive イメージはダウンロード中で表示されても、Internet から既に受け取り終わったかの用に鮮明に表示することができます。progressive イメージは、主にパソコンでサポートされています。メディア機器についてはお使いの画像処理ソフトウェア、もしくは IrfanView(<http://www.irfanview.com/>)のようなフリーツールを使って、標準 JPEG で保存してください。

メディアプレイヤーはストリーミングビデオをサポートしていますか？

いいえ。Idea のメディアプレイヤーはローカルストレージのファイルを再生し、ネットワークからのリアルタイムのビデオストリーミングをサポートしません。これは、吃音や画像の乱れ、ブルースクリーンなど、再生上の品質の問題を避けるためです。

しかしながら XMP シリーズのプレイヤーは、SOAP API を使用してネットワークから個々のファイルをプッシュする動的なコンテンツの配信をサポートしています。この方法は広帯域使用したリアルタイムストリーミング配信の要求とアップデートスケジュールにない、全体のコンテンツプレイリストの更新の間の妥協案となります。

メディアプレイヤーが再生しません。何をしたらいいですか？

ステータス情報について、ディスプレイに表示されるプレイヤーのメッセージを確認してください。

再生時の問題は、プレイリストのエラーとスケジュールの問題が二つの主な原因です。限定するために、もしプレイリストが問題の原因ならば、プレイリストを削除してプレイヤーを再起動して下さい。プレイヤーがすべてのファイルを再生すれば、プレイリストに問題があったことが分かります。

もし再生が特定の時間にスケジュールされている場合は、機器が正しい時間が設定されているか、正しいタイムゾーンが設定されているかを確認して下さい。どこにも間違いがないような時、多くの場合はタイムゾーンの誤りが再生されない原因になっています。



IAdea Limited Warranty

For Media Player Devices

Applicable to IAdea product models:

- XMP-300/305
- XMP-320/330
- XMP-120/130
- HMP-505S/500S
- NMP-200U

1. IAdea provides, unless extended through optional service programs, one (1) year of limited warranty on its applicable product models listed above. The applicable product must be purchased through an authorized IAdea reseller. Subject to the conditions of this warranty, IAdea will perform necessary service on the product without charge for parts or labor if, in the opinion of IAdea, the product is found to be faulty within the warranty period. IAdea's sole warranty and obligation will be to repair or replace (at its sole discretion) such products that require warranty during the applicable warranty period in accordance with these conditions. If the product is found to be in correct working order, then IAdea reserves the right to charge you for its time and materials costs.
2. This warranty only applies if the product has been under normal use and reasonable care (in the opinion of IAdea). The warranty covers normal usage for which the unit was originally supplied and does not cover damage, malfunction or failure resulting from use of incorrect voltages, unauthorized installation, accident, misuse, neglect, build-up of dirt or dust, abuse, power surge problems, thunderstorm activity, tampering or repair by unauthorized persons (including unauthorized alterations), unauthorized maintenance, exposure to abnormally corrosive conditions or any foreign object or matter having entered the product.
3. If warranty service is required you should contact IAdea at support@IAdea.com. You will be required to fill out an RMA form and provide proof for your original date of purchase.
4. You will be responsible for shipping the product to designated IAdea service locations. You are required to pre-pay for the shipping and custom charges, if any, required for the shipment of the product to IAdea. The warranties hereby conferred do not extend to any costs associated with the delivery, handling, freighting or transportation of the product and do not extend to any damage or loss occurring during, or associated with, transit.

IAdea currently provides warranty service locations in Taipei, Taiwan and Newark, California, USA.

For questions or further information, please contact support@IAdea.com.